

農林漁業現地事例情報「農林水産分野におけるIT活用取組事例」

1. 基本項目

分類	省力・便利・売上・元気・安心					
取組名	田園地域マルチメディアモデル整備事業の農業に関わるサービスの一環として 牛舎遠隔監視サービス（牛舎監視システム）					
取組主体	西興部村（北海道・西興部村）					
補助事業	1	田園地域マルチメディアモデル整備事業	年度	平成11～14年度	交付主体	国（農林水産省）
	2	田園地域マルチメディアモデル整備事業	年度	平成11～14年度	交付主体	北海道

2. 取組の概要

(1) IT導入の必要性、 導入に至った経緯	<p>西興部村では、平成元年からCATV事業を行っていたが、9年に実施した「西興部村マルチメディア」に関するアンケートの結果、農業に関する情報提供の要望があったことから、設備の更新時期にあわせ高度情報化基盤の整備を行った。</p> <p>同整備の一環として、牛舎の監視・巡回作業の効率化、省力化を図るために、牛舎遠隔監視サービスを導入した。</p>
(2) IT利用により期待 される効果・目標	<p>牛舎監視システムの利用によって、それまで定時、定期的に行っていた、牛舎の巡回作業が省力化でき、自宅において常時監視できることから効率的に牛の様子を把握することができる。</p>
(3) IT活用の概要	<p>牛舎に設置された、ズーム機能、マイク、照明などの機能を持つ遠隔監視カメラから、自宅のパソコンに画像を転送することにより、牛の様子を把握することができる。</p> <p>また、西興部村（人口1300人）全戸がネットワーク・光ファイバー網により、マルチメディア館IT夢（アトム）を介して、同サービスの他にも様々なネットワークサービスが利用可能となっている。</p> <p>農業振興に係るサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業気象情報サービス 家畜台帳データーサービス 農業支援サービス <p>【ITの導入初期経費】</p> <p>光ファイバー施設2億7千7百万円、各サービスアプリケーション設備3億5千万円等、総額13億7千百万円（農業以外のサービス設備を含む）</p> <p>牛舎遠隔監視サービスのみの費用算出は難しい。</p>
(4) IT利用者の範囲	<p>生産者（団体）・流通加工販売業者・消費者・その他（ ）</p>

3. 取組の効果

(1) 定量的効果

効果のあった点	牛舎の巡回作業の効率化	
効果の割合	導入直前との比較：10%（軽減）	対前年との比較：%（ ）

(2) 定性的効果

分類：便利	生産者との協議により導入されたシステムのため、利用率が非常に高い。
-------	-----------------------------------

4. ITに関する課題と今後の展開

導入したシステム	故障時に多くの費用と維持費がかかる。
----------	--------------------

ムに関する課題 ・問題点	
ITに関する今後の取組・展開方向	保守費用のあまりかからないシステムへの更新。

5. 利用者、IT（システム）構築業者の感想（声）

システム導入から年数が経過したことから、ソフト・ハード面の改善が必要。

6. 石破プランへの展開

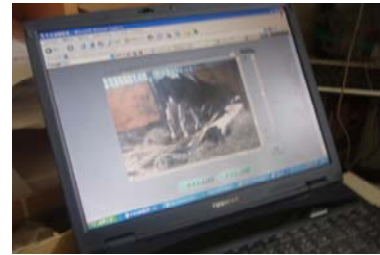
石破プラン推進 に向けての所見	西興部村では、田園地域マルチメディアモデル整備事業として、牛舎遠隔監視サービスをはじめ、各種多様なサービスを村全体に展開しており、地域の活性化、後継者の確保等に多大に寄与すると考えられる。
--------------------	--



牛舎遠隔監視ロボット

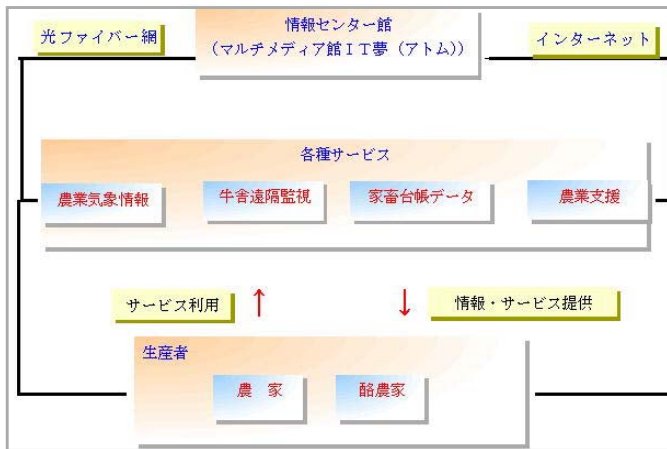


牛舎遠隔監視ロボット
ロボットは高さ1mほどの円筒形で、上部にズームも可能なレンズ、マイク、照明が取り付けられている。



牛舎から60m離れた自宅のパソコンで牛の様子が把握できる。

イメージ図



情報収集官署名：北海道農政事務所 遠軽統計・情報センター
連絡先：0158-42-2719

<本事例の収集時期：平成21年7月>